

第 9 回 実践交流会： 実施の様子

2014年3月29日(土)、京都大学 吉田キャンパスにて「第9回実践交流会」を行いました。E.FORUMの研修にこれまで参加して下さった会員を中心に、北は宮城県から南は長崎県まで総勢26名の方にご参加いただき、活発な意見交換が行われました。以下、実践交流会の様様をご報告いたします。

● オープニング&自己紹介

はじめに西岡加名恵准教授から交流会概要の説明があり、石井英真准教授がこの日、出席がかなわなかった前平泰志教育学研究科長(当時)に代わって、挨拶文を読み上げました。その後、参加者の自己紹介を行いました。



● 実践交流タイム・全体討論

4グループに分かれ、参加者が持ち寄った実践資料をもとに活発な議論が行われました。全体討論では、各グループから全体で共有したい話題や印象に残った話題、今後の課題などが報告されました。



● ワークショップ「教師としての成長過程と自己評価の視点—『Round Study』の手法を用いて—」

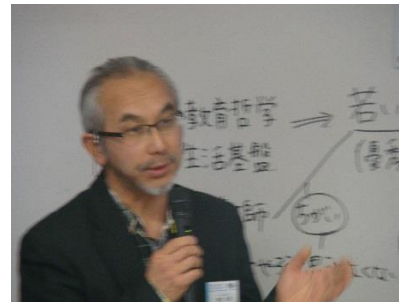
担当： 原田 三朗（豊川市立一宮南部小学校 教諭）

西岡 加名恵（京都大学大学院教育学研究科 准教授）

石井 英真（京都大学大学院教育学研究科 准教授）

今回のワークショップでは、はじめに西岡加名恵准教授より京都大学の教職課程ポートフォリオの紹介があり、教師の力量形成を支えるための評価の視点（「5つの柱」）について問題提示がなされました。この問題について議論するために原田三朗先生より「Round Study」という話し合いの手法が紹介されました。

その後、7つのグループに分かれて、「Round Study」を用いたグループワークが行われました。グループワークでは、教師の力量形成を支える「5つの柱」の魅力と課題について活発な議論が展開され、教師に求められる力量をどのように捉えたらよいか議論を深めることができました。



● クロージング

来年度に実施予定の夏の研修についてアナウンスをした後、交流会についての意見や要望などをアンケートに記入して終了しました。